

2. 地域医療体制の充実

1 医療機能の分化と連携の推進

救急医療の特性を考慮し、救急医療を提供する趣旨から、初期・二次の救急医療体制を整備する。

少子・高齢化社会の進展に伴う疾病構造の変化や救急医療に対するニーズの複雑・多様化に伴う、救急医療体制の一層の充実・強化を行う。

(1) 初期救急医療体制の整備

(昭和 58 年度開始 平成 29 年度予算 : 135,267 千円 一部県補助)

宇都宮市夜間休日救急診療所の運営

【事業の目的・内容】

休日や夜間における急病患者の救急医療を確保するため、初期医療体制として、宇都宮市夜間休日救急診療所を開設する（昭和 58 年 4 月開設）。（公財）宇都宮市医療保健事業団が指定管理者として救急診療所の管理運営を行う。

根拠法令等	主管課・グループ
救急医療対策事業実施要綱(昭和 52 年 07 月 06 日医発第 692 号) 宇都宮市夜間休日救急診療所条例 宇都宮市夜間休日救急診療所施行規則	総務課企画グループ

・診療科目及び診療時間

区分	診療日		診療時間	開設日数
昼間	医科 歯科	日曜, 祝祭日, 国民の休日	午前 9 時～午後 5 時	74 日
		旧盆 (8/13, 14, 15)		
		年末年始 (12/30～1/3)		
夜間	医科	毎日	午後 7 時 30 分～翌朝午前 7 時	365 日 (閏年は 366 日)
	歯科	毎日	午後 7 時 30 分～午前 0 時	

《実績》

利用状況 (患者数)

	内科	小児科	歯科	その他	合計
H16 年度	12,645 人	18,136 人	3,314 人	1,697 人	35,792 人
H17 年度	12,609 人	17,527 人	3,401 人	1,691 人	35,228 人
H18 年度	12,774 人	18,061 人	3,355 人	1,921 人	36,111 人
H19 年度	12,535 人	16,583 人	3,261 人	2,722 人	35,101 人
H20 年度	12,617 人	16,037 人	3,135 人	2,845 人	34,634 人
H21 年度	15,975 人	21,066 人	3,149 人	2,553 人	42,743 人
H22 年度	13,976 人	18,423 人	3,218 人	3,033 人	38,650 人
H23 年度	13,800 人	17,958 人	3,137 人	2,656 人	37,551 人
H24 年度	15,891 人	17,051 人	3,539 人	2,596 人	39,077 人
H25 年度	15,076 人	17,554 人	3,577 人	2,846 人	39,053 人
H26 年度	15,771 人	16,617 人	3,365 人	2,586 人	38,339 人
H27 年度	14,026 人	16,627 人	3,528 人	2,560 人	36,741 人
H28 年度	14,630 人	16,480 人	3,110 人	2,288 人	36,508 人

[参考]

後方支援病院の確保

【事業の目的・内容】

初期救急医療の後方支援体制を強化するため、小児科については済生会宇都宮病院において1日あたり2床、内科については宇都宮記念病院ほか3医療機関において1日あたり1床を確保する。

- ・後方支援病院 (小児科) …済生会宇都宮病院
(内科系) …宇都宮記念病院, 柴病院, 高橋内科胃腸科外科歯科(H26まで), 宇都宮東病院, 宇都宮第一病院 (H27から)

《実績》

夜間休日救急診療所からの後方支援病院への転送状況

	済生会	宇記念	柴	高橋内科	宇都宮東	宇第一	合計
H19年度	0人	24人	1人	9人	5人	-	39人
H20年度	0人	30人	5人	7人	3人	-	45人
H21年度	75人	31人	1人	8人	1人	-	116人
H22年度	39人	6人	2人	7人	5人	-	59人
H23年度	4人	3人	3人	4人	5人	-	19人
H24年度	16人	0人	2人	5人	4人	-	27人
H25年度	15人	0人	0人	1人	2人	-	18人
H26年度	6人	5人	0人	1人	2人	-	14人
H27年度	8人	12人	0人	-	4人	7人	31人
H28年度	11人	10人	1人	-	4人	9人	35人

(2) 二次救急医療体制の整備 (病院群輪番制病院・協力病院等の運営)

(昭和55年開始 平成29年度予算: 116,611千円 一部国・県補助あり)

【事業の目的・内容】

入院治療を必要とする救急患者が、夜間及び休日においても安心して必要な医療を受けることができるよう、関係者で構成する「宇都宮市救急医療対策連絡協議会」において、救急医療体制の充実強化に向けた検討を行うとともに、病院群輪番制病院や協力病院等の運営費等を支援する (平成21年6月1日運営開始)。

根拠法令等	主管課・グループ
救急医療対策事業実施要綱 (厚生労働省医政局) 二次救急医療体制運営に関する協定書 栃木県救急医療施設運営費等補助金交付要領 宇都宮市救急医療体制運営費補助金交付要綱	総務課 地域医療グループ

・実施医療機関数及び診療科目等

区 分	実施医療機関数	診療科目	診療日及び診療時間
病院群輪番制病院	済生会宇都宮病院	内科及び 外科系	平日 午後6時から 翌日午前8時30分まで
	NHO栃木医療センター		
	JCHOうつのみや病院		
	NHO宇都宮病院		
	宇都宮記念病院		
協力病院	宇都宮第一病院	実施診療 科目	休日 (・日曜, 祝祭日, 国民の 休日 ・旧盆 (8/13, 14, 15) ・年未年始 (12/30~1/3)) 午前8時30分から 翌日午前8時30分まで
	宇都宮南病院		
	佐藤病院		
	柴病院		
	鷺谷病院		
	倉持病院		
	宇都宮中央病院		
連携病院	藤井脳神経外科病院		
協力診療所	富塚メディカルクリニック		
	根本外科胃腸科医院		
連携診療所	宇都宮脳脊髄センター		

《実績》二次救急医療機関の救急患者数等状況(平成28年度)

区 分	救急隊からの患者受入れ要請件数		救急搬送 患者数	
	うち, 患者 受入れ件数	受入率 (%)		
輪番制病院	4,843 件	3,917 件	80.9 %	3,887 人
協力病院	2,086 件	1,151 件	55.2 %	1,082 人
連携病院	353 件	162 件	45.9 %	166 人
連携診療所	8 件	3 件	37.5 %	2 人
協力診療所	137 件	56 件	40.9 %	49 人
合 計	7,427 件	5,289 件	71.2 %	5,186 人

※ 平成28年4月～平成29年3月実績

(3) 小児救急医療体制の確保

(平成14年度開始 平成29年度予算: 21,840千円 県2/3市1/3)

【事業の目的・内容】

夜間及び休日における入院治療を必要とする重症の小児救急患者の医療を確保するため、初期救急施設である宇都宮市夜間休日救急診療所に小児科専門医師を配置するとともに、小児救急医療を行う輪番制病院(済生会宇都宮病院, 独立行政法人国立病院機構栃木医療センター, 独立行政法人地域医療機能推進機構うつのみや病院)の運営費を支援する。

根 拠 法 令 等	主管課・グループ
救急医療対策事業実施要綱(厚生労働省医政局)	総務課
栃木県救急医療施設運営費等補助金交付要領	地域医療グループ
宇都宮市小児救急医療施設運営費補助金交付要綱	

《実績》

小児救急医療支援病院における小児救急患者数

年度	H25	H26	H27	H28
済生会宇都宮病院	372人	931人	1,063人	1,414人
NHO栃木医療センター	610人	517人	541人	520人
JCHOうつのみや病院	286人	277人	285人	260人
合計	1,268人	1,725人	1,889人	2,194人

(4) 救急医療適正受診の促進 (昭和63年度開始 市単独 平成29年度予算:582千円)

【事業の目的・内容】

二次救急医療体制の円滑な運営を確保するため、救急医療に関する正しい知識を市民に周知・啓発する。

根拠法令等	主管課・グループ
救急の日及び救急医療週間実施要綱	総務課地域医療グループ

《実績》

① 救急の日記念講演会

年度	テーマ	参加者数
H18	「急に心臓が止まったら」 講師：獨協医科大学 救命救急センター長 崎尾秀彰 氏	150人
H19	「家族が病気やけがで一刻を争う事態になったら」 講師：済生会宇都宮病院副院長・栃木県救命救急センター所長 小林健二 氏	100人
H20	「市民に学んでもらいたい応急処置」 講師：自治医科大学 救命救急センター長・救急医学教授 鈴川正之 氏	150人
H21	救急医療を守り育てるシンポジウム 開催日時：平成21年9月20日(日) 午後1時～午後4時45分 会場：宇都宮市東コミュニティセンター ホール 実施内容：基調講演, AED実演 講師：獨協医科大学 小野一之 氏 パネルディスカッション「上手に使おう救急医療」 ・コーディネーター 高橋 淳 氏 (下野新聞社宇都宮総局長・論説委員) ・パネラー 中村 勤 氏 (宇都宮市保健福祉部次長兼保健所長) 鈴木 誠一 氏 (宇都宮市消防本部救命救急士) 小林 健二 氏 (済生会宇都宮病院副院長・栃木県救命救急センター長) 増田 典弘 氏 (独立行政法人国立病院機構宇都宮病院診療部長) 菊池 進一 氏 (宇都宮市医師会副会長) 大野 英雄 氏 (NPO法人地域医療を育てる会理事)	170人
H22	救急フェスタ ～どうしよう！子どもの急な病気やけが～ 開催日時：平成22年9月5日(日) 午後1時～午後4時30分 会場：とちぎ健康の森 実施内容：○「救急医療の標語」入賞作品表彰式 (応募総数262点) ○「小児救急に関する講演会」「ママの健康・子育て相談」「救急体験コーナー」	300人
H23	救急の日・救急医療週間イベント2011 開催日時：平成23年9月17日(土) 午後1時30分～午後4時30分 会場：宇都宮市保健所 実施内容：○災害時の救急医療に関する講演会 「3.11東日本大震災から学ぶ…そのとき、あなたならどうしますか？」 講師：中央消防署 小杉 佳人 消防司令 ○消防音楽隊演奏 ○健康・医療相談コーナー ○救急体験コーナー	300人

H24	<p>救急の日・救急医療週間イベント2012 開催日時：平成24年9月29日（土） 午後1時30分～午後4時 会場：宇都宮市保健所 実施内容：○救急医療の適正受診に関する講演会 テーマ：「みんなで考えよう 救急医療の正しい受診の仕方」 講師：栃木県救命救急センター長 小林 健二 先生 済生会宇都宮病院 救急診療科医長 宮武 諭 先生 ○夜間休日救急診療所見学ツアー ○救急体験コーナー 救急隊による応急手当講習，AEDの実技体験</p>	100人
H25	<p>救急の日・救急医療週間イベント2013 開催日時：平成25年9月7日（土） 午後1時30分～午後4時 会場：宇都宮市保健所 実施内容：○救急医療の適正受診に関する講演会 テーマ：「お年寄りによくある事故や病気とその対処法」 講師：獨協医科大学 小野 一之 先生 ○健康医療相談 ○応急手当講習会 ○救急医療の適正受診や救急車の適正利用の普及啓発</p>	220人
H26	<p>救急の日・救急医療週間イベント2014 開催日時：平成26年9月14日（日） 午前11時～正午 会場：(株)福田屋百貨店FKDインターパーク店 実施内容：○救急医療トークショー 講師：済生会宇都宮病院 救急診療科医長 宮武 諭 先生 ゲスト：リンク栃木ブレックス 田臥 勇太 選手 進行：レディオベリーパーソナリティー 須賀由美子 氏 ○AED講習 講師：日本光電東関東(株) 北村 秀仁 氏 済生会宇都宮病院：救急診療科医長 宮武 諭 先生 ゲスト：リンク栃木ブレックス 田臥 勇太 選手</p>	400人
H27	<p>救急の日・救急医療週間イベント2015 開催日時：平成27年9月12日（土） 午後1時30分～2時30分 会場：ベルモール 実施内容：○大事な救急，ダイジと学ぼう ○AED講習 講師：NHO栃木医療センター 感染アレルギー科医長 山口 禎男 先生 ゲスト：とちぎテレビ キャラクター 雷様剣士ダイジ，ひよごる，猿丸 進行：ラジオパーソナリティー 菊池 元男 氏 講師：宇都宮市東消防署職員</p>	400人
H28	<p>救急の日・救急医療週間イベント2016 開催日時：平成28年8月25日（木） 午後1時30分～午後3時 会場：宇都宮市保健所 実施内容：○基調講演「高齢者と救急医療」 講師：栃木県救命救急センター 宮武 諭 センター長 ○漫談「身を守る12の秘策」 演者：ご当地創作落語漫談師 田螺 踊理 氏 ○パネルディスカッション「考えよう，救急医療の正しい使い方」 出演：宇都宮市医師会 金子 達 副会長 栃木県救命救急センター 宮武 諭 センター長 宇都宮市保健所 上原 里程 所長 消防局警防課 石川 優 係長</p>	400人

② 救急受診の手引き 「市民みんなで支えよう救急医療」

区分	内 容
監修	宇都宮市救急医療対策連絡協議会 金子 達 (市医師会 救急対策部担当理事) 小林 健二 (栃木県済生会宇都宮病院 副院長) 崎尾 秀彰 (宇都宮記念病院 病院長) 羽金 和彦 (NHO栃木病院 外科部長) 福田 哲夫 (市医師会 夜間休日診療部担当理事) 藤川 日出行 (宇都宮社会保険病院 副院長) 増田 典弘 (NHO宇都宮病院 診療部長) ※ () 書きの役職は平成22年3月初版時のもの
掲載内容	子どもから高齢者まで幅広い年齢層に活用してもらえる以下の9項目を掲載 ①救急医療の現状 ②ふだんから心掛けること ③熱中症 ④子どもの病気 あわてず対処が基本です ⑤お年寄りによくある事故とその対処法 ⑥救急医療の仕組み ⑦症状に応じた救急車の利用を！ ⑧応急手当の仕方 ⑨AED設置施設マップ

※平成22年3月に20万部を作成し、各家庭に全戸配布。

現在は公共施設の窓口やイベント等で配布、また転入者に対しては転入手続き時に窓口で配布。

③ 救急出前講座

- ・ 講座名称 「症状に応じた上手な救急医療の利用を！」
- ・ 内容 救急医療の現状と、症状に応じた救急医療を利用するための正しい知識の普及啓発
- ・ 受講者数 7回126名 (平成28年度)

④ 救急探検ツアーの実施

- (ア) 日 時：第1回 平成28年7月26日(火) 午前8時45分～正午
第2回 平成28年7月28日(木) 〃
第3回 平成28年8月4日(木) 〃
- (イ) 会 場：第1回 市夜間休日救急診療所，済生会宇都宮病院，市中央消防署
第2回 市夜間休日救急診療所，NHO栃木医療センター，市中央消防署
第3回 市夜間休日救急診療所，宇都宮記念病院，市中央消防署
- (ウ) 主 催：宇都宮市，宇都宮市救急医療対策連絡協議会
- (エ) 協力機関：社会福祉法人恩賜財団済生会支部栃木県済生会宇都宮病院
公益財団法人宇都宮市医療保健事業団
社会医療法人中山会 宇都宮記念病院
独立行政法人国立病院機構栃木医療センター
宇都宮市中央消防署
- (オ) 実施内容：○宇都宮市夜間休日救急診療所：概要説明，施設内見学
○栃木県済生会宇都宮病院
：概要説明，救命救急センター及びヘリポート現場見学
○宇都宮記念病院：概要説明，処置室等見学
○NHO栃木医療センター：概要説明，医療機器等の体験・見学
○宇都宮市中央消防署：概要説明，消防署内及び車両見学
- (カ) 参 加 者：市内在住の小学3～6年生とその保護者等
第1回 10組23名，第2回 11組24名，第3回 11組25名

⑤ 広報うつつのみや9月号 市民への救急車の適正利用に関する記事を掲載